

# 令和4年度「電波の日・情報通信月間」記念式典を開催 ～電波利用・情報通信の発展に貢献した6個人・5団体を表彰～



【式辞】蒲生局長



【挨拶】金井会長



【来賓祝辞】金沢市  
デジタル行政戦略課  
佐野課長



【記念講演会】  
金沢大学菅沼教授

総務省北陸総合通信局（局長 蒲生 孝）と北陸情報通信協議会（会長 金井 豊 北陸経済連合会会長）は令和4年6月1日（水）、金沢市のホテル金沢で令和4年度「電波の日・情報通信月間」記念式典を開催しました。記念式典の開催は3年ぶりとなります。続けて開催した記念講演会を含め、情報通信関係者約120人が参列しました。

式典で、蒲生局長は「デジタル基盤の整備は特に地方が重要であり、これまで以上に地域の課題解決や活性化に取り組んでいく」と式辞を述べ、金井会長は「新型コロナウイルスに伴う行動制限も解除となり、各地で活気が戻りつつある。会員間での連携や協力を深めつつ、積極的に活動していく」と挨拶しました。

続いて、金沢市総務局デジタル行政戦略課長の佐野宏昭氏が、村山卓金沢市長の来賓祝辞を代読しました。その中で、昨年3月に策定した「金沢市デジタル戦略」に触れつつ、主催の両団体に対して「引き続き、北陸におけるデジタル化の牽引役を担ってほしい」と期待しました。

表彰では、北陸総合通信局長表彰として、電波の利用や情報通信の発展に功績のあった2個人・3団体に対して表彰状を授与しました。（1個人は事情により郵送対応しました。）

また、北陸情報通信協議会会長表彰として、北陸地域の情報通信の普及・発展等に関して功績のあった3個人・2団体に対して表彰状を授与しました。

記念講演会は、金沢大学高度モビリティ研究所副所長の菅沼直樹教授による「自動運転技術の社会実装に向けた金沢大学の取り組み」と題して行われました。同大では1998年から自動運転自動車の研究開発を始めており、過疎地や都市部での自動運転の課題の違いなどに触れ、「自動運転技術の発展とともに住民の合意をセットにして社会実装していかなければならない」と問題提起しました。また、自律型自動運転の車両に搭載する要素として、電波や光、センサーなどがあるとしつつ「電波は自動運転を実現する上で、大変重要な要素を占めている」と強調しました。

講演後の質疑応答も積極的に発言があり、参加者からは「非常に興味深い内容だった」などの感想が数多く寄せられました。



3年ぶりの開催となった  
記念式典

## ◎表彰者一覧◎

北陸総合通信局長表彰【電波の日功労】

個人 青山 一夫 殿

個人 千葉 晴信 殿

団体 陸上自衛隊第14普通科連隊 殿

北陸総合通信局長表彰【情報通信月間功労】

個人 久和 進 殿

団体 一般社団法人テレコムサービス協会北陸支部 殿

団体 富山県 殿

北陸情報通信協議会会長表彰

個人 斉藤 徹 殿

個人 佐道 正春 殿

個人 山根 智 殿

団体 石川県立飯田高等学校 殿

団体 金沢市立工業高等学校 殿

※受賞者の功績はこちらの報道資料をご覧ください。

[https://www.soumu.go.jp/soutsu/hokuriku/press/2022/pre220527\\_01.html](https://www.soumu.go.jp/soutsu/hokuriku/press/2022/pre220527_01.html)

問い合わせ先：総務部総務課  
076-233-4410